

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



11月のアルミ概況及び12月の見通し (3)

予想レンジ

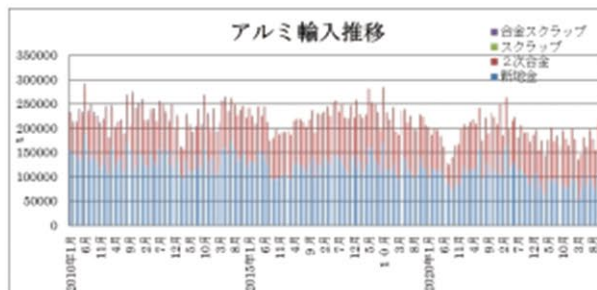
LME現物後場買い 2,400~2,700ドル ●
スクラップ 据え置き~+10円 ☀
為替 150円~160円 円安
(1か月間TTM)

国内指標

輸入

新地金	20%増	10万3,989 t
二次合金	2.4%増	11万682 t
スクラップ	2.8%増	627 t
合金スクラップ	12.6%増	7,153 t

輸入	8月	9月	10月
新地金	8万5091 t	7万3327 t	10万3000 t
前年比	-10.1%	-4.0%	+20%
二次合金	9万806 t	8万826 t	11万682 t
前年比	+3.1%	-8.0%	+2.4%
スクラップ	716 t	640 t	627 t
前年比	+0.0%	+4.0%	+2.0%
合金スクラップ	7000 t	6700 t	7163 t
前年比	+38.2%	+27%	+12.0%



出典 財務省 貿易統計

国内概況まとめ

自動車生産

生産動態統計によると、10月の自動車生産台数は、前年比マイナス0.3%の77万7,569台。輸出は、前年同月比マイナス3.3%の37万154台。

自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると、11月の自動車販売台数(軽除く)は、前年比マイナス2%の24万9,842台。

住宅着工戸数

10月の新設住宅着工は、持家が増加したが、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比2.9%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では、前月比2.7%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は69,669戸

前年同月比2.9%減、6か月連続の減少

○新設住宅着工床面積は5,399千㎡

前年同月比0.9%減、6か月連続の減少

○季節調整済年率換算値では779千戸

前月比2.7%減、4か月ぶりの減少

アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比1.1%減の14万9,884 t、3か月連続のマイナス。

板は、生産がマイナス。出荷はプラス。「自動車」は減少したが、それ以外の主要な分野がプラスとなり、出荷全体では増加した。

押出は、生産、出荷ともにマイナス。最大用途の「建設」向けの低下が続いている。

板類 9万2,333 t 1.8%減 マイナスに反転

押出類 5万7,511 t 0.4%減 3か月連続のマイナス

◆アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績

前年比10.9%減 6万660 t 3か月連続のマイナス

出荷 9.2%減 6万1920 t 3か月連続のマイナス

(つづく)